様式第１－２号

伝統的な古民家の耐震改修工事　実施計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 所 有 者 | 　 |
| 所 在 地 | 　 |
| 工　　法 | 1 在来軸組工法　　　2 伝統的構法　　　3 枠組壁工法 |
| 延床面積 | １階：　　　　　㎡　　　２階：　　　　　㎡　　　３階：　　　　　㎡合計：　　　　　㎡ |
| 建築年月 | 　　　　　年　　　月 |

１　耐震改修工事を行う住宅の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 耐震診断実施年度 |  | 耐震診断士派遣決定通知書の番号および年月日 | 　　第　　　　　　　号 |
| 　　　　年　　月　　日 |
| 担当耐震診断士 | 耐震診断士登録番号 |
| 氏　　名 |
| 一般診断法の場合診断評点 ※1 |  | Ｘ方向 | Ｙ方向 |
| ２階 |  |  |
| １階 |  |  |
| 伝統耐震診断法の場合評価指数 |  | Ｘ方向 | Ｙ方向 |
|  |  |  |

２　改修前の診断評点等

※1　上部構造評点の最小値を、補助金交付申請書の「改修前の診断評点」として記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 補強計画を作成した耐震診断士 | 耐震診断士登録番号 |
| 氏　　名 |
| 一般診断法の場合 |
|  | 補強計画の方針（どちらかを選択） | □①［住宅全体の耐震改修］診断評点を1.0以上にする□②［住宅全体の耐震改修］診断評点を0.7以上にする ※2 |
| 補強計画による診断評点 ※3 |  | Ｘ方向 | Ｙ方向 |
| ２階 |  |  |
| １階 |  |  |
| 伝統耐震診断法の場合 |
|  | 補強計画の方針 | □③［住宅全体の耐震改修］診断評点1.0以上相当とする ※2 |

３　改修後の診断評点等

※2　②③を選択した場合は、所得税控除等の税制上の優遇措置を受けられません。

※3　上部構造評点の最小値を、補助金交付申請書の「改修後の診断評点」として記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 金　額 |
|
| 総　費　用 | 円 |
| 耐震改修工事に要する費用 | 円 |
| 補助金の額 ※4 | 円 |

４　補助金額の算出

※4　補助金の額は、要綱第７条第１項各号の規定に基づき算出し、千円未満を切捨て記入してください。